

角田高校の生徒の皆さん！お元気ですか？ もうすぐ、冬休み！ 冬休みに入ると年越し、正月と新年の慌ただしさが待ったなしにやってきます。「一年の計は元旦にあり」とのことわざがありますが、来年をどんな年にするのか、あなたの夢を実現するために、忙しさの中で自分の来し方を振り返り、また自分の将来の夢を再確認し、行く末を具体的に思い描いてみるのもいいものです。

青年期の発達課題、「自我同一性の獲得」について



生まれてから死ぬまで人はどのように発達するかを研究したエリック・エリクソンという心理学者は、人生を8つの発達段階に従って成長するものとし、発達段階ごとに克服すべき課題（発達課題）と危機（心理社会的危機）があり、克服できたかどうかや克服の方法によって、その後のその人の人格形成に大きな影響を及ぼすと説明しました。青年期を12歳から22歳頃までの時期とし、この時期には、性的成熟に伴う著しい身体的変化が現れますが、心理的にも内省的傾向、自我意識がめざましい時期です。不安・いらだち・反抗など心の動揺が特徴です。思春期と呼ばれる前半では身体的・性的に成熟し、後半の高校生以降の時期では、自我意識・社会的意識が発達します。この時期に獲得しなければならない発達課題は「**自我同一性を確立すること**」と決めました。「**自分とは、何者か？**」という質問を自分自身に問い、答える内容が「**自我同一性**」つまり、「**自分自身のことをどう認識しているか**」です。経済的自立が遅くなっている現代では、「自我同一性の確立に失敗したまま長い時間を過ごす子どもが増えている」と言われます。「自分とは何者か」は一度確立されたからと言って、それが将来揺らがないわけではありません。しかし人生の転機には揺らいでも、青年期に自我同一性の確立に成功している人は、模索の末に、新たな自我同一性を見いだすことができると言われています。



自我同一性とは？

自我同一性とは、「自分と他人を区別し、自分が自分であることを実感していること」を表すことで、「アイデンティティ」とも言われます。**親離れ**と言われる心理的離乳の後、少しずつ確立していくものです。「時間や場所に関係なく、自分は自分であることをいつも確信できる状態」と説明されます。



自我同一性の4つの構成要素

1. 時間と場所にかかわらず、自分は自分であるという**連続性・一貫性**を持った確信
2. 自分はどんなことをしたくて、どんな人生を送りたいか**自覚している**という実感
3. 他人が認識している自分と、自分が認識している**自分が一致している**という実感
4. 自分は**社会の一員として社会と結びつき**を持ち、そこに**適応している**という実感を持つこと 以上の4つの要素から構成されています。

2020年を迎えると、一つ学年が上がる君たちへ

ことばの花束をプレゼント

1年生へ

学校の中核となる君たちへ！

**自信 と
勇気を！**

2年生へ

最高学年となる君たちへ！

**人間関係の中
で自分探しを！**

3年生へ

広い世界へ飛び立つ君たちへ

支えられて生きていく幸せに

感謝を！

スクールカウンセラーの面談日

1月：9日（木）・15日（水）・23日（木）

2月：5日（水）・12日（水）・20日（木）

3月：2日（月）

ご利用をお待ちしています。

電話番号での予約もお待ちしております

0224-63-3001です。

スクールカウンセリングでは保護者の皆様の相談もお待ちしております。保護者の皆様の子育ての困りごとやお悩みなどについていっしょに悩み、考えていきたいと思います。相談を希望される際は、基本的に事前に予約をいただけますようお願いいたします。ご予約の際は、下記のいずれかでお願いします。

- (1)直接カウンセラーあてに電話をする。
- (2)職員室に予約の電話をする。
- (3)担任の先生や養護教諭の先生を介して予約する。

いずれかの方法で予約していただけますと幸いです。皆様のご利用をお待ちしております。